

「障がい」 ～調べ方案内～

障害者基本法によると、「障害者」とは、「身体障害、知的障害または精神障害があるため、継続的に日常生活または、社会生活に相当な制限をうける者」とあります。
障がいを持つ方、高齢者など日常生活に障壁を持つ方に関する知識や支援・法律について、本やインターネットなどを使った調べ方をご案内します。

1. 図書館の利用者用の端末(OPAC)・ホームページのwebOPACで本を探す

キーワードで探す

情報を調べるときのキーワード

「障がい」「障害者」「視覚障害」「聴覚障害」「弱視」「ユニバーサルデザイン」「点字」「音訳」「ハンディキャップ」「盲導犬」「聾啞(ろうあ)」「老眼」「見えにくい」「聞こえない」「発達障害」「学習障害」「知的障害」「吃音」など、気になる言葉で検索してみましょう。

件名検索で探す

館内の利用者用端末(OPAC)・・・「資料をさがす」⇒「詳しくさがす」⇒「件名」

図書館HP・・・「詳細検索」⇒「件名」

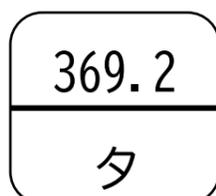
「件名」とは、本の内容を簡単な言葉で表したもので、一定の規則で決められています。件名で検索すると、関連図書や絞込み検索ができます。キーワード検索ではヒットしない、書名のタイトル中にその言葉が入っていない資料も検索できます。フリーワードでは多数ヒットしてしまうものは、件名検索で探すと絞込みができ便利です。

2. 図書館の書架で本を探す

障がいにかかわる主な分類(件名)

分類記号	内容	分類記号	内容
015	障害者サービス(図書館)	378	手話 音訳 点字 障害者教育
369	社会福祉	493.9	発達障害
369.2	高齢者福祉 介護福祉 障害者福祉	527	バリアフリー(建築)
369.4	心身障害児	780	障害者スポーツ

*資料の背の下方についている2段ラベル(請求記号)は図書の所在を表しています。



← 上段の数字は、分類記号です。
主題別に番号が与えられています。

← 下段のカタカナは、著者の頭文字です。

上段と下段を併せたものが「請求記号」です。
：分類記号の前のKは郷土資料を、Rは参考図書
を表しています。

図書館の本は、内容によって分類され並んでいます。袖ヶ浦市の図書館は、日本のほとんどの図書館で使用されている「日本十進分類法」(NDC)という分類体系により請求記号を添付し排架しています。

①老化による身体機能の衰えについて調べる

たとえば・・・こんな本があります。

タイトル	著者	出版者	発行年月	請求記号	所蔵館
老化と老年病	秋下 雅弘／編	東京大学出版会	2020年1月	491 ㊦	中央
熟年期障害	平澤 精一／著	アスコム	2019年6月	493.1 ヒ	長浦
老眼近視乱視遠視も治せる白内障手術のすべて	赤星 隆幸／著	KADOKAWA	2020年12月	496 ア	長浦
誰にも訪れる耳の不調・難聴を乗り越える本	杉浦 彩子／著	さくら舎	2020年9月	496 ス	中央
よくわかる補聴器選び 2021年版	関谷 芳正／監修・著	八重洲出版	2020年9月	496 セ 21	長浦

②視覚障がいについて調べる

たとえば・・・こんな本があります。

タイトル	著者	出版者	出版年月	請求記号	所蔵館
目の見えない人は世界をどう見ているのか	伊藤 亜紗／著	光文社	2015年4月	369.2 イ	長浦
白杖歩行サポートハンドブック 地域で暮らす視覚障害者のために	新潟県中途視覚障害者のリハビリテーションを推進する会／編	読書工房	2010年5月	369.2 ハ	中央
同行援護ハンドブック 第3版 視覚障害者の外出を安全に支援するために		日本医療企画,	2018年11月	369.2 マ	長浦

③聴覚障がいについて調べる

たとえば・・・こんな本があります。

タイトル	著者	出版者	発行年	請求記号	所蔵館
DVDと動画でわかるはじめての手話	モンキー高野／著	ナツメ社	2019年11月	378 エ	長浦
APD<聴覚情報処理障害>がわかる本 聞きとる力の高め方, イラスト版	小淵 千絵／監修	講談社	2021年3月	496 イ	長浦
図解やさしくわかる言語聴覚障害	小嶋 知幸／編著	ナツメ社	2016年11月	496 コ	長浦

④発達障がいについて調べる

たとえば・・・こんな本があります。

タイトル	著者	出版者	発行年	請求記号	所蔵館
“うつ” “ひきこもり”の遠因になる発達障害の“二次障害”を理解する本	宮尾 益知／監修	河出書房新社	2020年10月	378 ウ	長浦
発達障害の子の療育が全部わかる本	原 哲也／著	講談社	2021年1月	378 ハ	中央
大人の発達障害	太田 晴久／監修	西東社	2021年3月	493.7 オ	平川

⑤知的障がいについて調べる

たとえば・・・こんな本があります。

タイトル	著者	出版者	発行年	請求記号	所蔵館
知的障害や発達障害のある人とのコミュニケーションのトリセツ	坂井 聡／著	エンパワメント研究所	2019年12月	369.2 サ	長浦
知的障害/発達障害のある子の育て方 イラスト版	徳田 克己／監修 水野 智美／監修	講談社	2020年4月	378 チ	長浦

⑥障害者スポーツについて調べる

たとえば・・・こんな本があります。

タイトル	人名	出版者	出版年月	請求記号	所蔵館
障がいのある人のスポーツ指導教本 初級・中級	日本障がい者スポーツ協会／編	ぎょうせい	2020年3月	780 シ	長浦
使える!スポーツ手話ハンドブック	『スポーツ関連用語集』編集委員会／編集	全日本ろうあ連盟	2018年6月	780 ツ	中央
パラリンピック大百科	日本障がい者スポーツ協会／協力, 陶山 哲夫／監修, コンデックス情報研究所／編著	清水書院	2017年9月	780 ハ°	長浦
パラスポーツ・ボランティア入門	松尾 哲矢／編, 平田 竹男／編	旬報社	2019年12月	780 ハ°	長浦

⑦障がい者福祉・障がい者支援について調べる

たとえば・・・こんな本があります。

タイトル	著者	出版者	発行年	請求記号	所蔵館
身近な人が障害をもったときの手続きのすべて	鈴木 四季／監修	自由国民社	2018年7月	369.2 ミ	中央 長浦
障害のある子が将来にわたって受けられるサービスのすべて	渡部 伸／監修	自由国民社	2019年4月	369.2 シ	長浦

⑧障害者差別解消法・障害者総合支援法・バリアフリーについて調べる

たとえば・・・こんな本があります。

タイトル	人名	出版者	出版年月	請求記号	所蔵館
さあ、バリアフリー温泉旅行に出かけよう!	山崎 まゆみ／著	河出書房新社	2019年4月	291 ヤ	平岡
障害者総合支援法がよ〜くわかる本 第5版	福祉行政法令研究会／著	秀和システム	2019年6月	369.2 シ	中央
すぐに役立つこれならわかる!入門図解障害者総合支援法と障害年金の法律知識	森島 大吾／監修, 林 智之／監修	三修社	2021年4月	369.2 ス	長浦
これならわかる<スッキリ図解>障害者差別解消法	二本柳 覚／編著	翔泳社	2016年9月	369.2 ニ	長浦
バリアフリー体験ワークブック	八藤後 猛／著	彰国社	2020年9月	518 ヤ	長浦
バリアフリー住宅読本 改訂新版	高齢者住環境研究所／著, バリアフリーデザイン研究会／著, 伊藤勝規／著	三和書籍	2016年1月	527 ハ	長浦

3. インターネットで調べる

(インターネット最終アクセス:2021年6月9日)

※リンク先等の掲載内容について袖ヶ浦市立図書館図書館が責任を負うものではありません。予めご了承ください。

●厚生労働省「障害者福祉」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/shougaihashukushi/index.html

障がい福祉サービス等の施策や障害者手帳等の制度の情報にアクセスするための総合窓口です。

視覚障がい

●社会福祉法人 日本視覚障害者団体連合

<http://nichimou.org/>

視覚障がい者団体の全国組織として点字図書館の運営や福祉機器の販売斡旋、点字・音声・データによる情報誌の提供等を行っています。2019年(令和元年)法人名を「日本盲人会連合」から「日本視覚障害者団体連合」に改名しました。

●日本点字図書館／全国視覚障害者情報提供施設協会「サピエ図書館」

<https://www.sapie.or.jp/cgi-bin/CN1WWW>

全国の点字図書館や公共図書館、ボランティア団体等が製作・所蔵する点字図書や録音図書の書誌情報を集めたデータベース。会員は点字データやデイジーのダウンロード・リクエストも可能です。直接利用の個人会員の利用は無料です。

●千葉県視覚障害者福祉協会

<https://tisikyo.jp/>

障がい者への情報支援・IT支援・生活支援のほか、障がい者を支援するボランティアやガイドヘルパーの養成を行っている団体です。視覚障害者総合支援センターちば(千葉点字図書館)も運営しています。

聴覚障がい

●一般財団法人 全日本ろうあ連盟

<https://www.jfd.or.jp/>

全国47都道府県に傘下団体を擁する全国唯一のろう者の当事者団体です。ろう者の文化水準の向上、福祉の増進を目的とし、手話通訳の認知・手話通訳事業の制度化や聴覚障がい者の社会参加や自立の推進等に取り組んでいます。

●一般社団法人 全日本難聴者・中途失聴者団体連合会(全難聴) <https://www.zennancho.or.jp/>

難聴者・中途失聴者に対する施策の充実普及のための事業を行い、社会の理解を促進させるとともに障がい者の社会的地位の向上、福祉増進のための啓蒙・広報事業などが行っています。

●社会福祉法人 千葉県聴覚障害者協会 千葉聴覚障害者センター <http://www.chibadeaf.or.jp/>

手話通訳、要約筆記の派遣事業や養成事業、手話のできる方による介護サービス事業や聴覚障がい者への相談事業、また字幕入りビデオ・DVD資料の貸出し等、障がいのある方や耳の聴こえないことに関わる方への事業を行っています。

●社会福祉法人 全国手話研修センター <https://www.zentsuken.net/index.html>

手話通訳を中心に、手話、聴覚障がい者を取り巻く問題の研究を行っています。

●NHK手話ニュース <https://www.nhk.or.jp/shuwa/>

テレビ放送された字幕つきの手話ニュースの動画を見ることができます。

発達障がい

●千葉県発達障害者支援センター CAS <http://www5e.biglobe.ne.jp/~cas-cas/>

発達障がい者の生涯にわたる一貫した支援を行うために、関係機関との連携や個別相談、啓発事業等を行っています。

知的障がい

●千葉県知的障害者福祉協会(CAID) <http://www5e.biglobe.ne.jp/~cas-cas/>

知的障がい児者の人権保障に関する諸活動、並びに市民としての生活保障に関する施策などを推進するため、知的障がい児者に関する支援、啓発及び調査等の事業を行っています。

障がい者スポーツ

●公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 <https://www.jsad.or.jp/>

三障がいすべてのスポーツ振興を統括する組織として、また国際舞台で活躍できる選手の育成・強化を担う統括組織です。

4. 袖ヶ浦市立図書館の図書館利用に障がいのある方への支援について

図書館の利用が困難な方に対して様々なサービスをおこなっています。

詳しくはこちら

●図書館ホームページ 障がい者サービス <https://sodelib.jp/guide/service/shougai/>

ホーム>サービス・利用案内>図書館の各種サービスについて>障がい者サービス

●図書館ホームページ 資料案内>大活字本・朗読CD

ホーム>資料案内 https://sodelib.jp/doc_guide/

「障がい」の表記について

「障害」の「がい」という字は、もともとは「碍」でしたが、戦後の当用漢字の整理のなかで「碍」が外れたため、「害」が当てられました。ただこの字は「害する」「害されている」といったマイナスのイメージがあり、当事者のなかには不快に感じる人もいます。そのため近年では「害」を「がい」と表記する自治体が増えています。袖ヶ浦市では、「障がい」を正式表記としていますが、図書館資料のMARCの件名、法律名、書名、団体名などで「障害」と表記されている場合、表記の変更は検索の妨げとなるため、そのまま「障害」と表記しています。